

土地改良技術事務所保有の災害応急用ポンプが 東日本大災害で活用される

北陸農政局土地改良技術事務所では、災害応急用ポンプをエンジン付きポンプと水中ポンプ併せて30台保有しており、このうち11台を3月11日に発生した東日本大災害の復旧のため東北農政局から貸出派遣依頼を受け、貸出対応を行いました。

貸出対応

3月16日(水) 東北農政局より災害応急用ポンプの貸出派遣依頼
〔エンジン付きポンプ口径250mm4台、口径150mm5台〕
運送会社2社から10tトラック2台を手配し積み込み・搬出
宮城県仙台市宮城野区へ搬送

3月22日(火) 東北農政局より災害応急用ポンプの追加貸出派遣依頼
〔エンジン付きポンプ口径100mm2台、口径150mm用延長ホース他〕
運送会社から4tトラック1台を手配し積み込み・搬出
東北農政局へ搬送

災害ポンプ積込・搬出状況



災害応急用ポンプの搬出については、毎年土地改良技術事務所職員を対象に貸し出し訓練を行っており、今回の東日本大災害時の貸し出しについても訓練の成果が出て作業はスムーズに完了した。

貸し出し訓練状況

訓練前の説明



有資格者による機器吊り上げ



貸し出し機器の確認状況 ポンプ始動訓練状況



搬送された災害応急用ポンプは5台が石巻市(北上川土地改良区、稲井土地改良区)、2台が東松島市、2台が名取市(名取土地改良区)に設置し、水田に湛水した海水を河川へ排水するために使用されています。

災害ポンプ稼働状況(宮城県石巻市)



写真: 東北農政局土地改良事務所提供